

## 第1章 総説

### 【第1節 計画策定の意義】

本県のICT/DX関連施策の推進に向けた考え方や方向性、施策等を示すとともに、施策を計画的かつ効果的に推進し、新・沖縄21世紀ビジョン基本計画に掲げる「安全・安心で幸福が実感できる島」の形成をデジタル技術の面から支えるための総合計画として策定する

### 【第2節 計画の位置づけ】

- おきなわICT総合戦略の後継計画として、新・沖縄21世紀ビジョン基本計画と整合した、今後10年におけるDX推進の総合計画
- 着実にDXへとステップアップを図るための計画
- 様々な主体がICT活用/DX推進に取り組む際の指針
- 都道府県官民データ活用推進計画

### 【第3節 DX推進のビジョン】

【安全・安心で幸福が実感できる島】の形成にデジタルの面から貢献する

### 【第4節 推進の基本姿勢】

- ① 利用者視点に立った利便性の向上
- ② 制度やプロセスの変革による業務の効率化、サービスの向上
- ③ データによる新たな価値創出の促進や行政の効率化・高度化

### 【第5節 計画の構成と期間】

- 本編 令和4年度～令和13年度（10年間）
- 施策集 前期 令和4年度～令和6年度（3年間）
- 施策集 中期 令和7年度～令和9年度（3年間）
- 施策集 後期 令和10年度～令和13年度（4年間）

## 第2章 現状・課題

### 【第1節 時代潮流】

- 【技術的变化】 IoT、AI、ビッグデータ等を中核とする技術革新
- 【社会的変化】 少子高齢化・人口減少、ニューノーマルへの対応
- 【経済的变化】 産業の構造や消費者行動、ビジネススタイルの変化
- 【環境的变化】 気候変動対策に向けた脱炭素化や自然環境保護

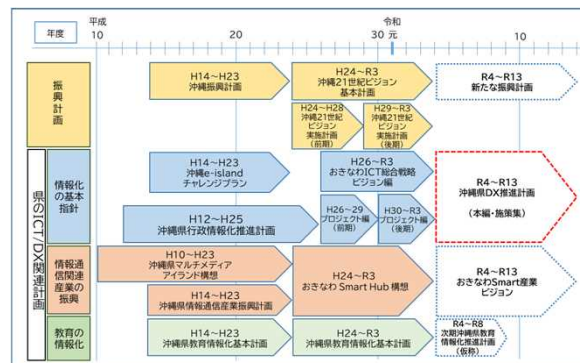
### 【第2節 ICT/DX関連施策の動向】

国の動向

- インフラ整備、ICT利活用、データ活用の推進を経て、デジタル社会推進へ

本県の動向

- これまで、情報化の基本指針、情報通信関連産業の振興、教育の情報化の3つに分類される計画にて施策を推進
- おきなわICT総合戦略を総括のうえ、残された課題等については、本計画においても引き続き改善を図る



### 【第3節 ICT/DXの背景となる社会情勢の現状】

技術、社会、経済、環境の4つの観点から主な現状を整理

【技術】・GIGAスクール端末の利活用状況 等

【社会】・各種人口の推移と推計 等

【経済】・労働生産性の状況 等

【環境】・沖縄地方の気象変動 等

### 【第4節 ビジョンの実現における課題】

時代潮流、現状等をもとに、【生活】、【行政】、【産業】の3分野に課題を整理

【生活】・安全・安心な生活の維持・向上

- ・離島・過疎地域の医療・教育・通信等生活環境の水準維持
- ・自然・歴史・文化の継承と発展
- ・デジタル社会に対応した情報教育の充実 等

【産業】・労働力の減少への対応

- ・「稼ぐ力」の向上
- ・産官学・異業種のオープンイノベーション促進 等

【行政】・行政手続オンライン化

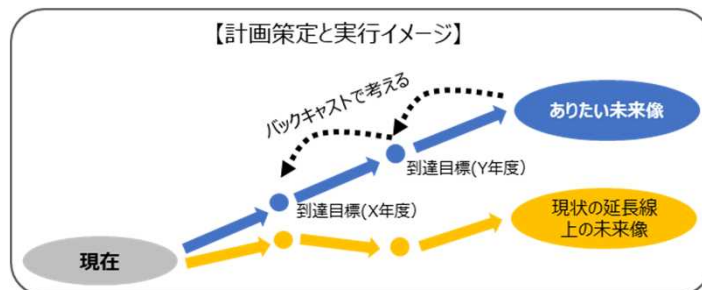
- ・自治体情報システム標準化・共通化
- ・AIやRPAの活用促進による業務効率化
- ・オープンデータの整備・活用促進 ・デジタルデバйд対策 等

## 第3章 ICT/DX推進の考え方

## 【第1節 計画策定と実行の考え方】

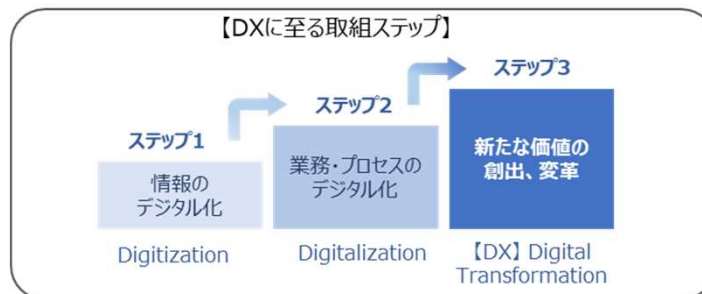
## 計画策定と実行

「ありたい未来像」の実現に向けバックキャストで到達目標を設定してICT/DXの推進による解決策を考え、「現状の延長線上の未来像」になってしまうを防ぐ。



## DXに至る取組のステップ

DXへと至るには、「デジタイゼーション(Digitization)」、「デジタルライゼーション(Digitalization)」、「DX(Digital-Transformation)」3つのステップがあるとされている。各施策ごとの進度に応じた推進に取り組み、将来的にはDXまでステップアップすることを目指す。



- ステップ1: デジタイゼーション(Digitization)  
全ての情報を電子化していく段階
- ステップ2: デジタルライゼーション(Digitalization)  
業務・プロセスにおいてデジタルの適用範囲・最適化の範囲を広げていく段階
- ステップ3: DX(Digital-Transformation)  
プロセスの連携や新たなプロセスによる大幅な効率化や価値創出の段階

## 【第2節 デジタル技術活用の基本原則】

本計画においては、国が提唱する、デジタル技術を活用する際の基本原則を踏まえ、ICT/DXの推進に取り組むこととする。

- デジタルファースト  
個々のサービスが一貫してデジタルで完結する
- ワンスオンリー  
一度提出した情報は、二度提出することを不要とする
- コネクテッド・ワンストップ  
民間サービスを含め、複数の手続き・サービスをワンストップで実現する
- クラウド・バイ・デフォルト  
情報システムの調達においては、クラウドサービスの利用を第1候補として費用の抑制、導入時間短縮、柔軟性の向上等を目指す
- オープンデータ・バイ・デザイン  
企画、設計段階からオープンデータを前提として、情報システムや業務プロセスの整備を行う

## 【第3節 自治体DX推進計画における取組事項】

本計画では、国の自治体DX推進計画における取組事項も踏まえ、ICT/DXの推進に取り組む。

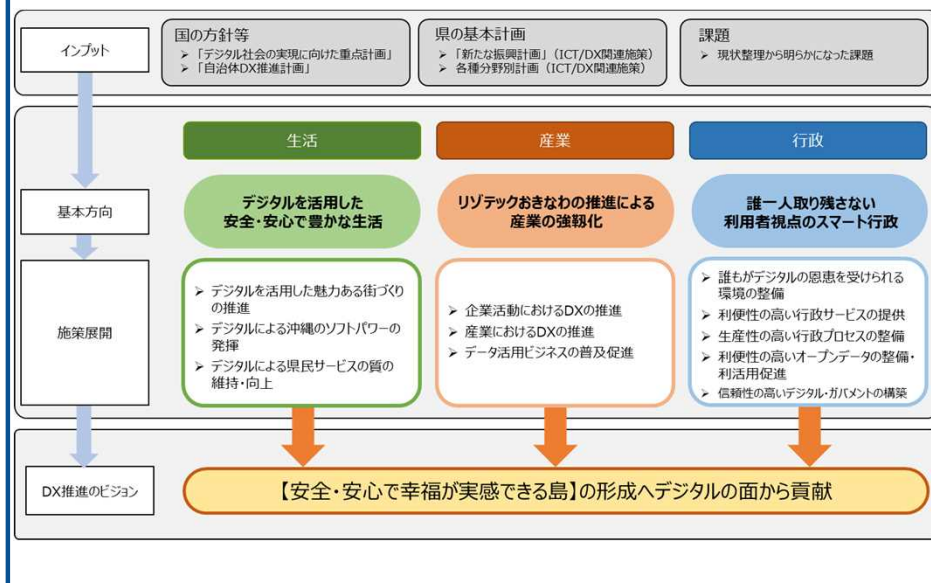
- 自治体DX推進計画の概要
  - ・ 趣旨  
デジタル社会構築に向けた各施策を効果的に実施していくためには、国が主導的役割を果たしつつ、自治体全体として、足並みを揃えて取り組んでいく必要がある。このため、自治体が重点的に取り組むべき事項・内容や国の支援策等を取りまとめる。
  - ・ 計画期間  
2021年1月から2026年3月まで
- 自治体DX推進計画 重点的取組事項
  - ・ 自治体の情報システムの標準化・共通化
  - ・ マイナンバーカードの普及促進
  - ・ 自治体の行政手続のオンライン化
  - ・ 自治体のAI・RPAの利活用推進
  - ・ テレワークの推進
  - ・ セキュリティ対策の徹底
- 自治体DXの取組とあわせて取り組むべき事項
  - ・ 地域社会のデジタル化
  - ・ デジタルデバйд対策

## 第4章 基本方向

## 【第1節 施策展開の考え方】

本県のICT/DX関連施策の推進にかかる基本方向を、  
【生活】、【産業】、【行政】の3分野ごとに定め、この基本方向に沿って基本施策、個別施策と展開する。

## 【第2節 施策展開の基本方向】



## 第5章 基本施策

各基本施策の目指す姿や展開の方向性、施策展開・施策を明らかにする。  
各施策に取り組むにあたっては、「沖縄県SDGs実施指針」を考慮する。

## &lt;例示&gt;

## 【生活】

- 基本施策 1-(3) デジタルによる県民サービスの質の維持・向上
- 施策展開ウ デジタル時代に即した教育・学習環境の整備
    - 施策① 遠隔講義配信システムの利用促進
    - 施策② ICTの活用による図書館サービスの充実
    - 施策③ 全ての学校における情報教育環境の整備
    - 施策④ 情報教育の充実
    - 施策⑤ ICT活用による教育の質の向上に向けた教育体制の整備

## 【産業】

- 基本施策 2-(2) 県内産業におけるDXの推進
- 施策展開オ 情報通信関連産業との連携・共創によるDXの促進
    - 施策① ResorTech Expoの開催による情報発信
    - 施策② 情報通信関連産業と各産業との連携・共創の促進
    - 施策③ DXをサポートする情報通信関連企業の高度化
    - 施策④ デジタル技術を活用したスタートアップやテストベッドの促進
    - 施策⑤ DX推進に資する企業の誘致

## 【行政】

- 基本施策 3-(3) 生産性の高い行政プロセスの整備
- 施策展開イ 全庁をあげたスマート県庁の構築
    - 施策① 共通事務におけるBPRの推進
    - 施策② AIの活用推進
    - 施策③ RPAの活用推進
    - 施策④ テレワークに対応した業務環境の整備

## 第6章 計画の推進

## 【第1節 推進体制】

- 沖縄県DX推進本部のもと、庁内の全部局が主体的な取組を行い、着実な推進を図る
- 部局横断的に取り組むべき施策については、専門部会を活用する
- CDO補佐官やDXアドバイザーチームを活用し、外部の専門的知見も取り入れる

## 【第2節 効果的な推進】

- コンサルテーション等により、DX推進の基本姿勢やデジタル活用原則に沿った推進を図る
- 研修等により、職員のDXに関連する知識等の向上・定着を図る

## 【第3節 進捗管理】

- 施策集をベースにPDCA検証による進捗管理やDXのステップの確認を毎年度実施進める
- 進捗管理の結果は、効果的な推進に向けて活用するほか、本計画の総括等で活用する

